



四
庫
全
書
式
坤

特 別
亦 2
6841
7:2



木2
6841
7=2

遺跡講式

先物礼

敬禮之人必恭敬 西天如来諸佛之跡

亦未遺法諸佛子 慈悲湯信敬佛者

南無大日如来明海依處大智德處之迹



次道師看座 次法用 次告白

敬白大恩テ及主釋ニ迦年下及山來華ケウ

藏法善八ニ萬重チ及親ニ見道ニ路ニ法ニ大ニ

律ニ仰ニ一ニ激チ塵ニ色ニ端ニ制ニ海ニ不ニ可ニ視ニ不ニ

の視ニ之ニ氣ニ培ニ子ニ而ニ言ニ

史ソレ自ヨリ提ニ河ニ輟ニ潤ニ堅ニ林ニ暗ニ報ニ之ニ後ニ鬼ニ

畜カハカレ乾ニ觀ニ人ニ天ニ在ニ據ニおニ是ニ大ニ悲ニ無ニ上ニ

而トニム留ニ跡ニ於ニ沙ニめニるニ凡ニ愚ニ嘆ニ之ニ以ニ磨ニ愁ニ

おニ哉ニ後ニ留ニ皆ニ然ニるニ而ニ多ニ培ニ法ニ平ニ漢ニ東ニ

古ニ路ニ隔ニ疎ニ波ニ欲ニ見ニ未ニ以ニ之ニ眼ニ之ニ香ニ

又萬里之云欲往後無身過身榮

予子重之勢出外家亦此唯海也

在世說法之衆念亦能證お懐故

意後之教又春日思困而欲息擁

胸秋來眠覺以些後德面宮め彼

法顯智猛智嚴法勇未出之め然

字病患瘵之過年男め之念逆則

捨身以爲法之跡經生以傍經福也

等何人極少之世證字是以每在

後如之少密在世之昔草木石水雲

城之出之日
上
モツハラ
ニナシテ
モツハラ
ニナシテ
モツハラ
ニナシテ
モツハラ
ニナシテ

風儀新加東去信致
クワン
ハシ
クワン
ハシ
クワン
ハシ
クワン
ハシ

莊老徳之書
カサリ
ハシ
カサリ
ハシ
カサリ
ハシ
カサリ
ハシ

道也集金
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ

所設
セツ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ

玉源釋
イダテ
フカレ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ

熱元加
サダシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ

星提
ホメト
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ

讚
ホメト
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ

人立
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ
ハシ

第一別業ニ菩提樹コト志異イハモツ摩竭カツ提

國サシシレル和正ユイテ覺山コト有南コト竹十コト字又コト雲コト有

菩提樹コト菩提樹コト志良ハヤカ畢コト鉢コト羅コト樹コト也

如來ガニテ生其コト下成コト未正コト覺因コト而謂コト之

菩提樹コト在世コト南コト初コト依コト菩提コト樹コト在コト南コト初コト依コト菩提コト樹コト

如來コト成神コト及現コト種コト神コト及コト他コト種コト

仙コト子コト全コト不コト覺コト凡コト樹コト家コト如コト有コト心コト識コト

是コト以コト二重コト説コト法コト名コト幼コト才コト二コト七コト中コト香コト

菩提樹コト高コト殊コト特コト全コト對コト於コト菩提コト樹コト

如來コト衆コト難コト妙コト衆コト以コト內コト枝コト條コト衆コト衆コト衆コト

後以摩尼教
摩尼教
摩尼教

雜色。多。美。分。枝。布。
中立日

影

後以摩尼教
摩尼教
摩尼教
摩尼教

与花间列又教
光明
光明
光明

摩尼教
摩尼教
摩尼教
摩尼教

以如来或神力
故恒出
妙音
授精

佛法
无有
甚格
如来
入城
以来

及又百家
以佛法
佛隆
隐者
性此

指物
索
如来
如来
如来
如来

信更
如来
道
如来
如来
如来
如来

如来
如来
如来
如来
如来
如来
如来

焚燒種火中會善善華。又大至視

矣物色深仲善能仲信善又至如

素信外及善善是使人亦分之後

重儀善格大至轉福礼致唯在善

精深增中快玉誠祈精以善乳快

香株不介至生至深致善至如快

也若新善白枝善善善善善善

不潤光鮮善善善善善善善善

之日善善善善善善善善善善

日諸國君至善善善善善善善

ふ石未集而素音牙列音美
初重

短鐘目款波借去者出泣使咽收

枯系而古忙唯王后生住字又め

来波海依所曾 成道と初凝七

月帝觀一代終運六通一團繞世

昔尚全二度く觀終 中音 幽未何忌

一和く湯信手祐中 三重 夕日冷夜

るあま出窓く心中悲徳法后載

星月人波中風事和清祐法源 二重 而末

隆为色道強為值也法無相り而ふ

交

何至端暗

仍者思

念者流可生渴仰

其極奮大光 遍照東方刹

多教如恒沙 諸佛之因去

南無摩揭提國伽藍城名末成道大菩提樹

等二物舉處遺跡者如來隆唱

我者認爲我中法入被欽礼

於去跡色地我亦凝慈慕お信中

隆遠名奧湯仁惟同說信禮同緣

一理見同俱性起德也如有中信

く二行志良掛教綱一員也法

五虞お中国空室化お道ある味

向め来く愚子河化道ふく恩字

所謂新産る影石面造斐物本

福々集止出一二摩錫花國育る

古上有斐物初昔必来一代の譽

入戦時ふと諸大の物戸那珠

是為名後之語漢文各自待再

余大流滿漢待漢お後如朱後系

壹回糸志在結也喜喜連皓原産

場園在比石上告阿難曰
二重 劫

入葬城之石後當此足跡力能磨場
アイ トヨ

隋國之
中音 大衆見中々者備極其

何礼彩
初重 其髮氣色者一尺八寸廣

雄六寸多足修有指相十指皆中

在又忽形映起光的時候有欲移

解衣石隆ふ大衆能動役者也

王不任佛法名城中德殿金之蓮華

又線め存弁く鏡如河漏石復本

膚か
二重 又百磨踏法物行る在

子々炳然ヒニギ花ハ塔タ塔タ於オ身ミ流ル血ケツ尚ナ存ゾ在ダ

聖ヒツ与アタレ子シ杖ツ搖ス留ル初ハツ布フ髮ヘ捲マ泥ドロ之ノ雪ユキ

於オ身ミ初ハツ偈ゲ地チ月ツキ光カミ射シ首ウヘ尸シ出デ洞ツツ

爲タカニ雷ライ中チウ音オン法ホフ寫シヤ聖セイ德トク殊シツ編ペン又マタ三サン意イ相ソウ

於オ心シン見ミ者シヤ塔タ信シン或アル恐コウ歎ト他タ清セイ獲カク

或アル天テン人ニン雨ウ露ロ花ハ亦イ莫モ書ショ自ジ風フウ或アル樂ラク

吾ウ親シン耳ニ者シヤ彼カ大ダイ人ニン民ミン競ケイ被ヒ巴ハ塔タ位イ

捧ホウ供キョウ具ク於オ末マツ亦イ奇キ矣ヤ勝シヨウ子シ息ソク之ノ用ヨウ

眼ガン白ハク想ソウ傳デン仍ニヨ唱チヤウ伽カ沒マツ之ノ形ケイ如ニ也ヤ

淨ジヨウ版ハン重ジュウ久ク矣ヤ生シヨウ年ネン于ニ塔タ堂ドウ下カ坐ザ仙セン塔タ

茗那園中法海塔 始於釋尊名梅塔

世如塔名空塔塔 考因海山般如塔

庵羅樹林羅摩塔 沙羅樹林中國寺塔

南無天有情明佛依處大金像處造跡

第一讚造跡名深如海名尼め珠

所有功德皆肉舍法不介向所生

根本形像從大智出生紙墨經卷

從法名寫法說於新處名新現林

愛石西雙輪教光的字身本生

是如來性起一切法成不他名在

化^{ナリ}文^持信^{イハ}多^フ因^{コト}起^ル又^タ亦^モ生^ム持^ツ感^ズ之^ヲ信^ス

此^ノ中^ニ識^ル業^ノ種^ノ之^ヲ受^ケ他^ノ也^ト信^ス以^テ又^モ百^ニ

若^シ此^ノ間^ニ之^ノ實^ヲ現^ル而^{シテ}劫^ノ又^モ來^ル唯^ニ

以^テ意^ヲ任^ス常^ニ任^ス其^ノ受^ケ水^ノ火^ノ亦^モ焚^ク風^ノ

災^ノ亦^モ破^ク壞^ル久^シ留^ル後^ニ代^ノ多^ク亦^モ亦^モ生^ム劫^ノ

何^レ也^ト來^ル以^テ此^ノ方^ニ使^フ妙^ク結^ス字^ヲ相^ノ違^フ

種^ノ類^ノ亦^モ生^ム依^テ枝^ノ其^ノ巧^ク堅^ク然^ル亦^モ燕^ル

之^ノ術^ヲ操^ル皆^シ是^レ清^ク潔^ク之^ノ業^ノ幻^ノ自^ラ然^ル之^ノ

大^ニ用^ス也^ト若^シ約^ク亦^モ生^ム亦^モ以^テ生^ム緣^ノ感^ズ

切^ク治^ス亦^モ約^ク亦^モ來^ル為^ル也^ト來^ル性^ノ起^ル大^ニ

用縁性母之終同法象無化無

衆者法性法縁忘深不思儀無用

也尚知二重 如来無心于一生擒

能盡之德山動深廣之海文

一大事因縁也在世持藏本意

身シノキニ 減後無福留是証ヲ 為是表贈イキニ

名字ナノ 力チカラ 圍イリ 提チ 結ケツ 運ウン 縁エン 皮クダ 以イ 皆ナラ 同トウ

如来大智之巧夫出利物之

便也初重 花嚴經說造利益之減持

除一切法好子惠海賢聖樂又

窮積經基成後。恋慕台根説也。

徳信何切徳。文立如来也。子名授。

成仙。珠世。回惑人。智尚重。

其形見信家。成仙。掌。誰極。ま。道。

跡。字。設。隆。有。信。始。く。道。法。地。字。名。

念。思。况。遺。社。致。重。人。以。め。来。

和。子。之。名。字。况。意。慕。渴。信。事。

文。無。上。等。之。持。抗。社。字。の。唱。伽。陀。子。り。

礼。拜。一。拜。

是。同。儀。を。重。重。に。前。行。切。信。事。の。重。

お方为中終ふ事 ちあ城始始終ふ以若

南史今有情明地依處大聖仁德也

弟軍奉遺跡忠慕人志良此化

上古之苑悟不祖師意道能而於

帝訪經福以輕生人主教惟多ふ

皇毛集法德隆教多古初用意

逢法顯之苑是也之苑以晉隆あ

三支費及自去ああ後流沙止守苑

多下無之歎口願以乾測向之

唯視日以唯東あ算能以知り路

過 巽 風 雉 牙 擒 忽 鬼 捨 扇 但 先 志
フハ 子ロイ コカシ ミラ オラハレテ スツ オラハ持 トヒ コシザラ

次 意 道 毛 毛 是 欲 詣 志 就 志 山 人 陳
ツキニス サラ ツイニ イタツテ スルニ アセントレウ ジウ セニニ ヒト由 イサメテ

日 勝 途 多 難 窮 處 有 疑 愚 神 子 受
イハシム ハ ト マシ ナシ コアリ ヒ

散 人 不 女 牽 被 禮 致 象 法 師 普 回
ツラフ シモツ シカ ハルカニ サニニ由ライ ツ コタヒテイハク

遠 涉 數 万 程 毛 志 就 志 身 命 亦 即
トマシム ワタシヨハ カシカニ ヒキ ラアタラシヨ ニヨウラ スゴセ

出 息 難 保 豈 の 使 積 年 之 誠 改 聖
カタレク タニチ アニ ハケナヤ イテ ヲヤ スアニ イタリナカク

而 獲 象 隆 有 冷 難 各 不 狀 也
スルニ 上 中 立 音 凡レ ト ケシ 十ニ レ イトハ ナリ

法 顯 玉 山 燒 香 礼 佛 翻 感 意 能 妙
テ ヤニニ ヨイテ タキ カシスルニ キウ ムツルコトレ

親 重 儀 儀 院 始 出 傳 收 便 而 言 仙 妙
ミルガ セウ フガイ トヒテ ハミ イタム ヲサメテ 汝ウ イハクモウ ナレ

此 山 說 首 楞 嚴 經 法 眼 生 不 徒 化
ヤシ ヨニニ トイヒニキ レユ リヨウハ ゴン フ カシヤ

但見是德之
珠玉粒粒更
是地

破燈娘續的一
心感悅皮山
有大

石之昔
來おけ
入氣法
時おき

前通首
擗者強有
之愚
師子來
臨

法師
あ
取
指
尾
法
師
泣
勢
痛

經
又
世
惜
身
氣
及
師
子
見
之
源

生
字
重
位
下
尾
伏
法
師
あ
以
念
慈

書
之
度
師
子
之
語
曰
汝
欲
言
乎
且

待
通
經
之
師
子
位
人
一
心
睡
經
以
及
乃

者
此
等
諸
法
恨
生
之
遇
仙
者
見
之

泣立らば我れ懐生ふく出たは是佛也

或重傷復醒而悟深踏死廻渡吟

多る天の庭江に都るふ守存後意

小の仙居河原に人將事産生る所也

河家入人抱事殊名利 披書傳

記の勝出在事 仍疑語甚結好也

唱依随のり初め

永説謀實之 安慰め是事

皮隆不見佛 功と見は同

南無妙蓮華天親見遺跡深心求法大徳

身又發願迴向志願以此意慕渴

修一切法必成就自利利他大願

先不偏之祇曰切大及不空早

恒如如地經歷生相

重對心善無的眠覺亦應教

身之憐見中諸法漢國

不空亦空之志願隨一切法

之善法勤來速乃生

身之身法現由則願速度

滿仍唱伽陀之句

願以此切法 普及於一切
亦與衆生 皆有來往
南無山來成道大聖提樹大聖德者
次神
次六種回向
遺跡講式

舍利講式

先惣礼

敬礼天人六覺尊 恒沙福智法身滿
同法果深遠正覺 任壽激然無有來
南無天恩教主釋迦牟尼佛生也德遇敬

南無藏及福田也(一)舍利生世值遇哉

次導師必應 次法用 次表白

敬白大恩教主釋迦牟尼末代後

福田遺身舍利遺教入萬世

教護持是法十六尊者同禪之佛

一切之教之旨

更佛日既隱長和時或晚法船渡

擢苦海便河渡亦是奉舍利之藏

光白希尋亦八心之由路以重教

之梯以迄樂又六度之彼處也

マツニ坂方ラ用

遣使還者之方便ハ令利カ使志醫國主ハ

留藥ヤク之巧シ以稱者モ也ハ

弟子シ二月十五日ニ書來問答ニ

座ザ讚詠ソウ始シ一ニ之ノ佛恩ブツ利リ宿シュク先セン

對タイ裴林入ヘイリン藏ソウ之ノ信シン法フツ流リウ各カク持チ之ノ最サイ後ゴ

之ノ供次キョウジ疏ソ十ジュウ六ロク種シュウ漢カン之ノ事コト賤ケン平ヘイ

皇スミ湯トウ位イ之ノ殊シユ重ジュウ德トク定テイ樹ジュ枯コ表ヒヤウ之ノ精セイ

上ジョウ下ゲ皆カミ敬ケイ慕モ之ノ思シ之ノ讚ソウ在ゾウ身シン今イマ

利リ之ノ澹タン老ロウ之ノ流リウ之ノ授ジュ之ノ後ゴ之ノ中チュウ

洞ドウ一イツ之ノ同ドウ覺カク睡スイ之ノ稱ショウ念ネン大ダイ出シュツ

以下ノ書キハ大樂院ニ用ル

今日月今日日

子ノキ

エイラツキダス

又ヤク

子ノキ

エイラツキダス

又ヤク

子ノキ

エイラツキダス

又ヤク

子ノキ

エイラツキダス

又ヤク

子ノキ

エイラツキダス

又ヤク

子ノキ

エイラツキダス

又ヤク

子ノキ

エイラツキダス

又ヤク

子ノキ

エイラツキダス

又ヤク

子ノキ

エイラツキダス

又ヤク

室是清来。来世德遇。尚座。以身。

四度。結。願。已。向。悔。悔。也。能。中。有。三。

隨一。惣。讚。舍。利。功。德。二。子。舉。尚。代。

雲。漢。之。法。願。回。向。也。

第一。惣。讚。舍。利。功。德。之。由。來。更。胎。

生。因。是。形。碎。全。身。現。舍。利。之。本。意。

者。流。傳。也。是。世。末。代。因。緣。也。六。部。

生。亦。由。彼。而。生。也。夫。生。身。

各。別。二。子。年。始。成。後。亦。道。可。向。

是。跡。也。隨。手。數。第。一。道。道。地。生。

不見

中音

若無碎身之便去河磨

イカテカ マスメン

賊及之出款尔善教理

初重 諸惡

化皮一切法入法非取又乾園海

河澄性也橫羅羅堅形羅摩羅羅

亦成碎末全牙身現舍利

經云供生身再舍利一人以法福

正當無異也此花經中說舍利堂

三災劫末时为獨獨氣理法重對

陰出上之河也及此之面釋

尚其雨花时漫出釋

微妙音

延 却 無 相 好 乎 他 者 未 他 故 也

無 量 壽 佛 生 於 衆 中 令

得 不 退 轉 乃 知 又 仙 也 不 激 然

教 亦 大 如 中 包 後 也 是 一 滴

深 滄 冥 必 有 海 水 乾 竭 仙 已 流 生

子 之 生 界 其 家 不 激 磨 利 也

尚 此 極 說 異 類 也 不 似 身 性 教 識

初 重 仍 漢 無 由 而 言 唱 伽 陀 可

斯 礼 拜 矣

於 如 來 金 刹 一 與 信 者 者

中世の九炷燈

平定海澄縣

南齊後周遺身舍利堂並佛道碑數

第一別備由代利益者史書地經

人愚人賤法重賢不來生法化不

弘引施像大重之巧舍利藏

神新形足信佛法志意無難多古

今此一佛法始來漢朝時摩騰

道士得神慈日舍利直上空巾從

環め重層後大立映聲日光天面

氣屯散大心上又之妙樂音層滿

室中大... 敬末... 諸君

肝... 投... 頂... 禮... 法

脚... 出... 家... 以... 度... 當... 教... 子... 有... 解... 法

中... 德... 山... 乃... 士... 六... 百... 九... 十... 人... 中... 六... 百

女... 人... 出... 家... 又... 僧... 名... 性... 異... 國... 異... 主... 禮

云... 乃... 慈... 新... 念... 由... 金... 利... 立... 塔... 波... 較

禮... 教... 乃... 慈... 慈... 安... 須... 加... 刑... 以... 法... 諸... 君... 一... 七

日... 各... 主... 感... 慈... 慈... 又... 由... 一... 七... 百... 零... 七... 百

慈... 笑... 主... 嘲... 嬉... 欲... 加... 飛... 文... 信... 之... 七

日... 僧... 舍... 語... 同... 律... 曰... 法... 之... 興... 慶

在氏今度無感極以死為期至

之七日暮終身之品法漢也感量

不若懼既入又更忽爾親中卷

然有春之因果以舍利五色光

焰明耀瓶之好之石磁從隨舍利

所獲燒之如燈火燭他大蓮華光

明照曜交廣法王教之清淨法

漢初建伽藍宇之稱

蓮初寺之里名仙臨里又離羅

塔以骨舍利者泥土之木末結以骨

圓一尺二寸。相倍年形。め。...

色。黄白。髮。孔。の。欲。心。未。能。者。...

香。和。泥。以。中。頂。骨。有。者。...

煖。然。を。有。小。夫。王。...

形。心。慨。而。投。珠。財。積。功。...

昨。子。形。又。投。財。氣。持。...

形。倍。勵。精。意。以。得。...

方。是。本。國。之。精。全。...

地。鬼。以。其。符。無。効。...

お。堂。中。お。お。お。お。...

音也。其借授。飛根。隨字。倍福。灌次。

添入親身。以是法。才他。渴仰。以是。

生身字。一心。念。孝子。晚。念。利。德。通。

舍利神愛。不思。像。是。國。語。此。海。商。量。

始。生。身。位。在。寫。為。建。西。路。他。的。塔。

南。之。滅。後。福。因。蓮。身。金。利。生。世。倍。通。項。戴。

身。之。結。願。迴。向。者。乞。當。令。一。日。一。夜。

所。造。各。業。或。財。供。或。法。供。併。志。奉。

渴。仰。切。盡。也。皆。眼。湛。意。出。之。淺。

持。供。物。お。り。上。若。面。會。渴。仰。之。矣。

致礼おはす。下生蒙難遭之想患

集會以のり。一。和の梅念。衆多

戸座。讚歎大恩。此身不取。自解。碎

常業。く。激心。志願。之。風。早。通。お

唐。錫。之。空。好。修。之。南。速。深。お。重。念。能

之。坊。二重。修。願。大。恩。教。を。釋。迦。め。來

護。持。進。法。中。六。考。志。九。十。九。億。無

學。聖。之。成。後。福。回。を。身。全。利。十。有

三。世。法。仙。之。慈。親。見。進。法。諸。大。祖。師

必。照。臨。見。大。會。之。慈。志。來。と。值。遇。ふ

深之志見世一々母丹初次

果在彼乃心 之象同為一家在

德一味之法有平生合為一談建篇

一性之覺母 仍任歎法色悟

思可謂其故能回向之向

願未來之恒少劫 念之不捨多人所

如新法形之修難 盡來勸修之種智

新以一切功德 善及お一切

家為之而生 世共來仙道

南無極樂國四尊身舍利佛統其平利登

次神分

次六種巴向

舍利誨式

是韻譜也。故西禪院前官榮融所
珍藏。而吾先師受焉。蓋別有舊本
行于世。然點檢不完。韻節殆杜撰
也。先師之所傳者。音韻愜律呂節
度。應金石美哉。決々乎盛哉。泐々

乎於是乎先師擬傳諸吾二三同
侶命余小子上木寫其舉未遂烏
兔漸逝先師示寐無嗚呼余雖
不敏辱蒙這固遺命因卒揮小筆
自按定而請閱同學月輪院良辨

者乃呂托之剡厥氏顧俾先師餘

鄉音木鐸吾

日出之邦者其在斯其在斯

寶曆戊寅之冬十月望

弟子廡峯焚香拜識于南山

普門院中



南山金剛峯寺普門院藏梓

書肆

經師八九衛門

